

折に触れ 四字熟語

NO. 293 『好事多魔』 こうじ たま

< 意味 > よいことには、とかく邪魔が入りやすいことのとえ。恋愛など多くの波乱や邪魔があり、思うように成就しないことにもいう。「好事魔多し」と訓読する。

< 出典 > 『西廂記』一

用 例 : 好事魔おおし、せっかくの白川夜船を、何物とも知れず、ポカーンと頬つぺたをはりつけて、かれの夢を <吉川英治・神州天馬侠>

語 釈 : 「魔」は磨とも書く。

一 言 : 少し前になりますが、大谷翔平がドジャーズ入団、結婚発表と全世界が羨むような良いことばかりが続く中で、突然、通訳の水原一平の悪事が明らかになり驚かされました。その時、私はこの好事魔多しの言葉を思い浮かべました。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」